

ロータリークラブが100年を経た今は、世界168カ国の地域まで広がっています。その理由は一体何でしょうか。まだ初歩的な理解に過ぎませんが、私は奉仕というロータリー精神がより多くの人々の共感を呼び、奉仕する精神こそロータリーの拡大発展の元であり原点だと思います。ロータリーの綱領をみても4項目すべてに奉仕の言葉があり、奉仕するためにやるべきことが示されています。今までの私はどちらかというとやはり自分、親族、知人の範囲でものを考えたりしてきました。これからまず奉仕とは何か、奉仕するために何が必要か、さらに会員の皆さんのような継続的な奉仕ができるような人間になるために、しっかりロータリー精神を学び、社会活動に積極的にかかわっていきたいと思いますのでどうぞよろしくお願いいたします。

委員会報告

<国際奉仕委員会>

安藤登委員長

今年度、国際奉仕委員長を仰せつかりました安藤です。メンバーは副委員長に岡村会員、ポリオプラス委員長に笠会員、委員に鈴木バスト会長、ロータリー財団委員長に佐藤会員、委員に鴨志田敏彦会員、並木会員、米山奨学委員長に中島会員、委員に笠会員、安藤志子会員、米山カウンセラーに安倍会員、青少年交換に結城会員となっています。1年間どうぞよろしくお願いいたします。

今年度の計画は計画書のとおりですが、まずポリオプラスは99%撲滅されましたが、撲滅宣言はもう少し先ようです。ロータリー財団の寄付と米山奨学金の寄付は、昨年度と同じようにした方が目標達成しやすいと思いますので、よろしくご協力のほどお願いいたします。

米山奨学生の林 松国君も今までの奨学生と同様に安倍カウンセラーとクラブ全体でサポートして有意義な学生生活となるようにご協力をお願いします。私達のクラブでは開発途上国などに対しての国際奉仕活動は間接的な寄付が主でしたが、今後は長期的奉仕活動を視野に入れて、直接的な発展途上国への援助や資金、労力、知識など奉仕活動ができるかど

うかなど、今後の課題として考えていきたいと思っています。例えば一つの方法として、国内の外国人労働者の中には日本語がわからない人がおりますので、そのような人が日本語の教育活動や社会生活のお手伝いに参加できたらいいのでは、などとも思っております。皆様と共に国際奉仕活動を進めるにあたりアイデア、提案などがありましたらお願いいたします。来年3月頃には台湾永和RCの創立30周年祝賀会に参加させていただく予定です。まだ詳しい情報が入っておりませんが、一応予定しておいてください。会員の皆様1年間よろしくお願いいたします。

